詠む広場

毎日俳壇

片山由美子 選

紫陽花や姉妹の旅もこれきりと
鹿児島市　平川　玲子

△評▽あちこち旅を共にしてきた気の合う姉妹だが、年齢を重ね、もう最後ということに。アジサイの美しさがさびしく目に映る。

羅やたたみて藍の濃く淡く
東　京　あべゆう子

△評▽夏用の絽や紗の着物は透け感が涼しげ。それをたたんだときに生まれる濃淡をとらえた。

夏の雨スカイツリーを洗ひけり
平塚市　日下　光代

薔薇園のマリア・カラスに会ひに行く
さいたま市　金井　裕子

帆船の水尾ゆたかなる立夏かな
加古川市　中村　立身

停泊のクルーズ船の夏ともし
北九州市　篠原　敬祐

一斉に田植機動く日曜日
倉敷市　中路　修平

十一の声いくたびも風に乗り
北九州市　宮上　博文

棚田にも水ゆきわたり時鳥
町田市　枝澤　聖文

急坂を登れば下り桐の花
入間市　木嶋　務

小川　軽舟 選

青田波旅客機機首を上げにけり
立川市　大西　信子

△評▽田んぼの中の地方空港。滑走路から離陸しようと今まさに機首を上げたのだ。ごう音の聞こえそうな臨場感がある。

風薫る喜寿を迎えし少年ら
青森市　天童　光宏

△評▽喜寿になっても少年の心を失わない愉快な仲間。作者自身もその一人なのだろう。

風鈴の鳴れば鳴るほど家静か
土浦市　今泉　準一

青く立ち白く崩るる夏の波
北本市　萩原　行博

駅までの五分の道や走り梅雨
いわき市　織内あさ陽

日の出づる城址の森の若葉かな
佐倉市　松戸　文彦

花は葉に面影橋の向こう岸
宝塚市　藤田　晋一

えごの花散り敷く上にまた散りて
宗像市　波田てつお

雨雲の合間合間の朴の花
熊谷市　根岸　旻平

翡翠の幼鳥三羽親を待ち
島田市　沢田　嘉乃

西村　和子 選

頬杖をついて遠目の夏帽子
東　京　髙木　靖之

△評▽つばの広い大人の夏帽子だろう。何を眺めているのか、倦怠感に満ちた暑い真昼の女性の姿態が思い浮かぶ魅力的な句。

晩年へ心ととのへ更衣
有田市　谷中　節子

△評▽衣食住の最初の季語に、人生の節目の心がまえを託した作品。助詞の「へ」が効果的。

這ひ這ひの速くなりたり青嵐
姫路市　田辺富士雄

受け持つは昔ながらの胡瓜揉み
下関市　佐藤よし子

葉桜の天蓋となる遊歩道
横浜市　相沢恵美子

夏山や焼きおむすびの芳しく
那須塩原市　谷口　弘

スムージーにハーブ香らす五月かな
東　京　徳原　伸吉

夕風に水の匂ひや田植時
羽生市　岡村　実

水口の水ひそひそと花しょうぶ
岡山市　三好　泥子

杣道の不意の明るさ合歓の花
つくば市　村越　陽一

井上　康明 選

涼しさや哀悼に美辞つらねざる
川越市　峰尾　雅彦

△評▽葬儀に際して弔辞を述べたのは、古くからの友人だろう。とつとつと語った哀悼のことばは真率で、会場を涼風が吹き渡る。

滝を見し帰路にゆゑなき涙出づ
直方市　岩野　伸子

△評▽滝の印象が圧倒的だったのだ。帰り道、わけもなく涙が流れて、木々の緑がにじむ。

蚊遣火匂ひ予備校の掲示板
甲府市　清水　輝子

明易や生誕の日の海の紺
富士市　後藤　秋邑

茅花流し祖父に竹馬の友ありし
東　京　石川　黎

老鶯や天に湧水あるごとく
八街市　山本　淑夫

桂垣光悦寺垣苔の花
姫路市　板谷　繁

夕晴れや竿の先なる蝸牛
市川市　高野　厚夫

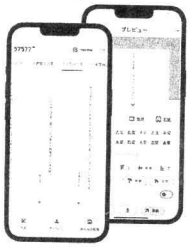
名画座はビルの七階街薄暑
広島市　村越　縁

黄雀風ポールに当たるホームラン
伊丹市　噂野アンドゥー

アプリで推し短歌

アプリ「57577」の投稿からユーザー人気をふまえて歌人の天野慶さんが選歌と評を担当します。アプリは右のQRコードまたはhttps://tanka.one/からダウンロードできます。

短歌アプリ 57577



お題「水」

・水切りの石がちっとも跳ねなくて僕らの恋に羽根が生えない　スーパーはるる

願いを込め、川面に小石を投げる。跳ねない。今度はもっと平べったい石で。まだだめ。手首をもっとひねって……。水切りも恋も、「何か」が足りないと、上手に進んでくれません。羽ばたく日まで、繰り返し挑戦するのです。「跳ね」と「羽根」の言葉遊びも効いています。

・この前は水に流したことだけどたまに逆流してきちゃうんだ　小野たま

まさに、気持ちは水のように形を変えて流れてゆきます。忘れてしまいたい、もう過去のことだとけじめをつけたはずなのに、寝る前に暗い部屋の中で思い出してしまう……。ごぼごぼと逆流してしまうのは、水の性質だから仕方ない、と思えば、受け入れやすくなりますね。

・人は水　固体液体気体のよう　応えたい生きたい期待したい　葉山つむぎ

初句の力強い言い切り。そして「固体液体気体」と呼応する下の句のそれぞれの言葉も、ただ空耳のように音として似ているだけではなく、「人」の欲望を鋭く言い当てています。水のように、形の揺らぐ心だけれど、どの状態にも希望を感じること、とても心強くなります。

＝次回のお題「青」（7月28日掲載）